

2020年6月17日(水) ハコラク7月号 掲載

ドクターコラム『心臓が大きいと言われたら』

循環器内科 齊藤 尚孝 診療部長

心臓が大きいと言われたら



函館中央病院
循環器内科
齊藤 尚孝 診療部長

健診を受けた時心臓が大きいとか心肥大、心拡大と言われたことはありませんか。今回は、心臓が大きいということとはどのような意味を持っているかお話を致します。

心臓は一生の間、絶えず収縮と拡張を繰り返す、特殊な心筋細胞から出来ています。心筋細胞は母親のお腹の中にいる胎児期には活発に分裂・増殖を繰り返しますが、生まれる頃には分裂する機能を失い、

数が増えることはありません。以後の心臓の成長は個々の心筋細胞の大きさが増すことに対応しています。

心肥大とは圧力に負けないため心筋細胞が大きく硬くなり、心臓の壁が厚くなったことを指します。遺伝や一流のスポーツ選手などでもまれに見られますが、大多数は高血圧などが原因です。また心筋梗塞や弁膜症などで心筋細胞が弱って心臓の内腔が大きくなった時は心拡大と

表現します。

バネやゴムひもと同じで、無理に引っ張り続けると段々と伸びてしまうように心臓の筋肉も伸びてしまいます。バネも弱ってくると縮む力が落ちてきますが、少し引っぱってやれば、また元の力を出すことが出来ます。これと同じことが疲労した心臓に起きてくるのです。心臓も心筋を伸ばすことにより元の力を出そうとするため大きくなります。心臓が大きいと言われたら心臓に負担をかけている病気を見つけ出さなければなりません。放っておくと心臓はどんどん大きくなって収縮力が落ちてきます。心臓の大きさは重要な指標なのです。

心臓が大きいかどうかは胸部レントゲン撮影や心電図でも分かりますが、最も有効なのは心エコー検査です。また、その負担の原因が何であるのか詳しく分かります。健診で異常を言われたら、症状がなくても早期診断・治療が重要であり早めに検査を受けることをおすすめ致します。



函館中央病院 函館市本町33-2 ☎0138-52-1231(代) <http://www.chubyou.com/>

■診療科目/内科、消化器内科、腫瘍内科、循環器内科、小児科、外科、整形外科、形成外科
心臓血管外科、皮膚科、産婦人科、耳鼻咽喉科、歯科口腔外科など全26科目
■受付時間/8:30~11:30、13:30~16:00 ※土曜は午前のみ。診療科や時間帯によっては要予約。
■休日/日曜・祝日・年末年始

